

北見工業大学学報

第 239 号 (2010 年 5 月号)

目 次

入 学 式	平成 22 年度入学式挙行……………	2
告 辞	入学式告辞……………	3
入 試	平成 23 年度編入学学生募集要項の公表……………	6
	平成 23 年度大学院工学研究科博士課程学生募集要項の公表……………	7
研 究 助 成	平成 22 年度科学研究費補助金交付内定……………	9
	平成 22 年度科学研究費補助金申請件数一覧……………	12
	平成 22 年度(財)河川環境管理財団研究助成金の課題採択決定……………	13
	平成 22 年度共同研究の受入状況……………	14
	平成 22 年度受託研究の受入状況……………	15
	平成 22 年度奨学寄附金の受入状況……………	15
人 事	人事異動……………	16
	各種委員会等委員名簿……………	20
受 賞	バイオ環境化学科、中谷久之教授が第 28 回スガウエザリング技術振興財団 科学技術奨励賞を受賞……………	28
諸 報	国立極地研究所と連携・協力に関する協定書を締結……………	29
	名誉教授称号授与……………	30
	平成 22 年度構内美化作業の開始……………	31
	50 周年記念植樹式……………	32
	函館、苫小牧、釧路、旭川の道内4高専と学術交流協定を締結……………	33
日 誌	4 月・5 月……………	34

= 入学式 =

平成 22 年度入学式挙行

(総務課)

平成 22 年度入学式が、4 月 5 日(月)午前 10 時から北見市民会館大ホールで行われました。

学長から、学部 422 人、学部編入学 9 人、大学院博士前期課程 126 人及び大学院博士後期課程 15 人の入学が許可された後、学長
学部

系名	入学者数(人)
機械・社会環境系	165
情報電気エレクトロニクス系	147
バイオ環境・マテリアル系	110
合計	422

学部編入学

学科名	入学者数(人)
機械工学科	5
社会環境工学科	1
バイオ環境化学科	2
マテリアル工学科	1
合計	9

告辞、北見市副市長、大学後援会「KIT げんき会」会長、学生後援会会長、同窓会会長からのご祝辞、入学生代表宣誓及び役職員紹介が行われ、式は無事終了しました。

なお、入学者数は次のとおりです。

大学院博士前期課程

専攻名	入学者数(人)
機械システム工学専攻	33
電気電子工学専攻	15
情報システム工学専攻	16
化学システム工学専攻	20
機能材料工学専攻	22
土木開発工学専攻	20
合計	126

大学院博士後期課程

専攻名	入学者数(人)
生産基盤工学専攻	4
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	8
医療工学専攻	3
合計	15



入学生代表宣誓



新入生を歓迎し餅つきを行う同窓会の方々

= 告辞 =

入学式告辞

学長 鮎田 耕一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

北見工業大学を代表致しまして、私たちの大学の一員となった皆さんの入学を心から歓迎します。

また、これまで皆さんを育て、温かく見守ってこられたご両親をはじめご家族の皆様にもお祝いを申し上げます。

本日は北見市副市長の塚本様、大学後援会会長の永田様、学生後援会会長の滝沢様、同窓会会長の富田様、並びに多くの父母の方にご出席いただき、入学式を挙行できますことをうれしく思います。

北見工業大学は、今年創立 50 周年という記念すべき年を迎えております。

卒業生も 15,000 人の規模になりました。

日本の最も北にある国立大学でありながら、半数の学生は北海道外の出身で、卒業生も全国に展開し、幅広い分野で活躍しています。

皆さんが住むことになった北見市の周辺には 4 つの国立公園が日帰り圏内にあります。西に「大雪山国立公園」、南に「阿寒国立公園」と「釧路湿原国立公園」、東に世界自然遺産に登録され有名になった「知床国立公園」です。

皆さんはこのような豊かな自然環境のなかで、これから希望にあふれた大学生生活を送ることになります。

しかし、初めて家族から離れて 1 人で生活を始める皆さんの中には北見での学生生活に不安を感じている人もいるかもしれません。本学では、入学生の皆さん 4、5 人に対して 1 人の先生が個別担任になるなど手厚い学生支援体制をとっていますので、安心して

新生活を始めてください。今日午後からの新入生ガイダンスで詳しい説明を受けてください。

本日は大学院へ進学する皆さんの入学式でもあります。

博士前期課程に入学した皆さんは、急速に進歩発展している科学技術の世界で、学士課程で培った基礎学力を基に応用的な専門の勉強をし、専門技術者を目指してください。

博士後期課程に入学した方は、指導を受ける先生の下でその分野で優れた研究業績をあげ、高度専門技術者あるいは研究者として巣立つことを期待しています。

さて、我が国の景気は回復の兆しを見せているものの依然厳しい状況にあり、文部科学省と厚生労働省が先月発表した 2 月 1 日時点の大学生の就職内定率は、就職氷河期といわれた 10 年前よりも低い過去最低の 80% でした。本学の学生も例年に比べれば苦戦を強いられましたが、幸い全国平均よりも 10 ポイント以上高い 90% 台を維持しており、技術系の国立大学の強みを発揮しています。

皆さんが就職活動するときには景気が本格的に回復していることを願っていますが、どのような状況にも対応できるように、これからの学生時代に少なくとも基礎学力とコミュニケーション能力を身につけるよう努力をしてください。

その前提として自分が北見工業大学に入学し、何を目標にこれから学生生活を送ろうとしているのかをまず考えてください。



そのうえで自分が将来どのような社会人と
りわけ技術者になることを目指しているのか
イメージしてみてください。

先月中旬ごろ内閣府が発表した世論調査
の結果によりますと、日本が国際競争力を
高めるには科学技術を発展させる必要があ
ると考える人が9割近くに達していました。

科学技術が貢献すべき分野は、「医療」
がトップで、次いで「地球環境保全」、「資
源・エネルギー開発」でした。また、同じく9
割近くの人が自然エネルギーや燃料電池が
普及した社会を「実現できる」と回答しており、
国民がいかに科学技術の発展を望んでいる
かが明らかです。

皆さんの参考のために、これらの分野に
関する本学の取り組みについて紹介します
と、世論調査で最も期待が高かった「医療」
に関しては、この4月から大学院博士後期
課程に「医療工学専攻」を立ち上げ、高度
化、複雑化する医療に工学の分野で貢献
する体制をとりました。

期待が2番目に高かった「地球環境保
全」に関しては、6つの学科のうち2つの学
科に「環境」という名前がついているくらい本
学のお家芸です。これらの学科を中核に
様々な研究を展開しています。

3番目の「資源・エネルギー開発」関連で
もメタンハイドレートに代表される多くの研究
業績を挙げています。加えて温室効果ガス
の排出削減に向けて期待が高い自然エネ

ルギーや水素を使った燃料電池の開発に
関連する研究にも積極的に取り組んでいま
す。

国民の多くが望んでいるこのような科学技
術分野に限らず、自分がどのような分野で
将来技術者として活躍したいのか目標を持
ち、その実現のために基礎的科目を勉強す
るのだという目的意識を持って取り組みば、
自ずと基礎学力は身につくでしょう。

様々な分野の最先端の研究には4年次
の卒業研究などでその一端に触れることに
なりますが、より深く研究するために大学院
へ進学することを勧めます。

今日の入学式には大学院博士前期課程
126人、後期課程15人の大学院生が含ま
れていますが、学部新入生の皆さんには工学
系の大学では大学院に進む人が非常に多
いということを認識してもらい、早いうちから
進学を視野に入れ勉学に励んでもらうこと
を期待していますし、ご両親にも工学の分野
では大学院への進学が決して特別の学生を
対象としているのではないことをご理解い
ただければと思っております。

身につけてもらいたいことのもう一つのコミュ
ニケーション能力は、相手との意思疎通とか
協調性、それに自己表現能力ですから、人
と人のつながりが基本となります。

そこで人と人のつながり「縁」について少
し話をします。

「袖振り合うも多生の縁」という言葉を聞いた
ことがあるでしょう。

「袖振り合う」は、他人と着物の袖が触れる
ことです。「多生の縁」は、生まれ出る前から
多くの生を送る間に結ばれた因縁を意味し
ます。

したがって「袖振り合うも多生の縁」は、歩
いていてたまたま衣服が触れ合うようなちよ
っとした出来事でも すべて前世、生まれる
前から決められていたことであり、偶然のこと

ではないという意味になります。

皆さんは日本中からいや世界各国から、前世から定められている見えない糸に手繰り寄せられ、本日お互いに本学の同期生になりました。

この気のおけない同期生同士でまずコミュニケーションを図ってください。

皆さんの先輩は、全国各地それぞれの同窓会支部で集まりを持っています。私も参加していますが、社会人として成長した教え子と会って話ができることは教師冥利に尽きることです。

人生の幸せはそうした縁を大事にしながら、人間関係をさらに広げていくことでもたらされるものです。

よい人間関係を広めるための基本の一つは、「挨拶」をすることです。

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」です。加えて「ありがとう」です。

全国各地の高校を訪問しますと、見知らぬ私に高校生が挨拶してくれ、非常にすが

すがしい気持ちになります。皆さんも高校生のときに挨拶をしてきたことでしょうか。大学生になったからといってその礼儀を忘れずに続けてください。これから皆さんとは大学のキャンパスですれ違うこともあるでしょうが、そのときはお互いに挨拶をしましょう。コミュニケーションを図りましょう。

北見工業大学は技術系の大学です。その教育目標は明快です。

北見工業大学では、皆さんが将来技術者として自立できるよう基礎的な教育をしっかりとやって社会に送りだします。

加えて大学院生には、北見工業大学ならではの特色ある研究を指導します。

皆さんもそれに応えるよう意欲を持って勉学に励んでください。

皆さんが北見工業大学の一員として心身ともに健やかな学生生活を過ごされることを心から祈って歓迎の挨拶と致します。

改めて入学おめでとうございます。



= 入 試 =

平成 23 年度編入学学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 23 年度編入学学生募集要項が公表されました。概要は以下のとおりです。

選抜の種類	推薦入試・学力試験入試・社会人特別入試	
学 科 及 び 募 集 人 員	工学部全学科 推薦入試 10 人 学力試験入試及び社会人特別入試 若干人	
出 願 資 格	<p>推薦入試</p> <p>高等専門学校・理工系の短期大学を平成 23 年 3 月卒業見込みの者 (ただし、商船高等専門学校商船学科については、平成 23 年 9 月卒業見込みの者)</p> <p>学力試験入試</p> <p>(1) 大学を卒業した者又は平成 23 年 3 月卒業見込みの者 (2) 高等専門学校・短期大学を卒業した者又は平成 23 年度 3 月卒業見込みの者 (ただし、商船高等専門学校商船学科については、平成 23 年 9 月卒業見込みの者) (3) 修業年限 4 年以上の他の大学に 2 年以上在学している者又は在学した者 ただし、一つの大学に 2 年以上(休学期間を除く。)在学し、62 単位以上修得した者又は平成 23 年 3 月までに修得見込みの者(平成 23 年 3 月までに 2 年間以上在学となる者を含む。)等</p> <p>社会人特別入試</p> <p>入学時において企業等に正規の職員として 2 年以上在職中で、在職のまま入学することができ、所属長からの推薦がある者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 理工系の高等専門学校を卒業した者 (2) 理工系の短期大学を卒業した者 (3) 大学・学部の理工系学科を卒業した者又は大学・学部の理工系学科に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得し退学した者</p>	
出 願 期 間	推薦入試・社会人特別入試	5 月 28 日(金)～6 月 2 日(水)
	学力試験による入試	6 月 17 日(木)～6 月 21 日(月)
試 験 日	推薦入試・社会人特別入試	6 月 9 日(水)(面接)
	学力試験入試	6 月 30 日(水)
合 格 発 表	推薦入試・社会人特別入試	6 月 16 日(水)
	学力試験入試	7 月 7 日(水)

平成 23 年度大学院工学研究科博士課程学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 23 年度大学院工学研究科博士課程学生募集要項が公表されました。概要は以下のとおりです。また、平成 22 年度大学院秋季入学の学生募集要項も同時に公表され、平成 23 年度入試の第一次募集と同一日程で実施されます。

	博士前期課程	博士後期課程																																					
専 攻	機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻	生産基盤工学専攻 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 医療工学専攻																																					
選 抜 の 種 類	一般入試 学部 3 年次学生対象入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試 高等専門学校専攻科生特別入試	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試																																					
募集人員	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">第1次</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">第2次</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">16 人</td> <td style="text-align: center;">16 人</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">各専攻とも若干人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">16 人</td> <td style="text-align: center;">16 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">14 人</td> <td style="text-align: center;">14 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10 人</td> <td style="text-align: center;">10 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">20 人</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">20 人</td> <td style="text-align: center;">20 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学部 3 年次学生対象入試 各専攻とも若干人 ・社会人特別入試 各専攻とも若干人 ・外国人留学生特別入試 各専攻とも若干人 ・高等専門学校専攻科生特別入試 各専攻とも若干人 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 	第1次	第2次			16 人	16 人	各専攻とも若干人		16 人	16 人		14 人	14 人		10 人	10 人		20 人	20 人		20 人	20 人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 生産基盤工学専攻 寒冷地・環境・ エネルギー工学専攻 医療工学専攻 </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">第1次</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">第2次</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3 人</td> <td style="text-align: center;">3 人</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">各専攻とも若干人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3 人</td> <td style="text-align: center;">3 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2 人</td> <td style="text-align: center;">2 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人入試 各専攻とも若干人 ・外国人留学生入試 各専攻とも若干人 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 生産基盤工学専攻 寒冷地・環境・ エネルギー工学専攻 医療工学専攻 	第1次	第2次			3 人	3 人	各専攻とも若干人		3 人	3 人		2 人	2 人
<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 	第1次	第2次																																					
	16 人	16 人	各専攻とも若干人																																				
	16 人	16 人																																					
	14 人	14 人																																					
	10 人	10 人																																					
	20 人	20 人																																					
	20 人	20 人																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 生産基盤工学専攻 寒冷地・環境・ エネルギー工学専攻 医療工学専攻 	第1次	第2次																																					
	3 人	3 人	各専攻とも若干人																																				
	3 人	3 人																																					
	2 人	2 人																																					
出願資格	大学を卒業した者又は平成 23 年 3 月までに卒業見込みの者 等	修士の学位を有する者又は平成 23 年 3 月までに卒業見込みの者 等																																					
出願期間	第 1 次募集 平成 22 年 7 月 8 日(木)～7 月 14 日(水) (出願資格の事前審査受付 平成 22 年 5 月 31 日(月)～平成 22 年 6 月 4 日(金)) 第 2 次募集 平成 23 年 1 月 17 日(月)～1 月 21 日(金) (出願資格の事前審査受付 平成 22 年 12 月 1 日(水)～平成 22 年 12 月 6 日(月))																																						

試験日	第1次募集 学力試験 平成22年8月23日(月) 面接試験 平成22年8月24日(火) 第2次募集 学力試験 平成23年2月7日(月) 面接試験 平成23年2月8日(火)	第1次募集 面接試験 平成22年8月25日(水) 第2次募集 面接試験 平成23年2月7日(月)
合格発表	第1次募集 平成22年9月8日(水) 第2次募集 平成23年2月16日(水)	



= 研究助成 =

平成22年度 科学研究費補助金交付内定

(研究協力課)

○基盤研究(A)一般

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
社会環境工学科	教授	高橋 修平	「知床」の雪氷環境・防災に関する研究	3,200		○

※別途、間接経費960千円配分

○基盤研究(A)海外

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
マテリアル工学科	教授	高橋 信夫	バイカル湖表層メタンハイドレートの多層形成環境の解明	7,300		○

※別途、間接経費2,190千円配分

○基盤研究(B)一般

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
社会環境工学科	教授	川村 彰	ヒューマン・インターフェースを用いた性能照査型路面評価システムの開発	1,600		○
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	洪水時における中規模河床波の変形に着目した流路形成機構に関する研究	3,300		○
社会環境工学科	教授	山下 聡	表層型ガスハイドレート地盤の安定性評価と地球環境変動	6400		○
バイオ環境化学科	教授	鈴木 勉	鉄触媒炭化二段法によるウッドリファイナリーの構築とナノ炭素からの高機能材料の開発	3200		○
情報システム工学科	教授	三浦 則明	太陽multi-conjugate補償光学系の実用化	10,300	○	

※別途、間接経費7,440千円配分

○基盤研究(C)一般

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
情報システム工学科	准教授	榊井 文人	情報の遷移にダイナミックに追従するインターネット単語帳システムの開発	600		○
バイオ環境化学科	准教授	佐藤 利次	逆遺伝的手法による食用担子菌の子実体関連遺伝子の解析	1,100		○
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	植物のシュート形態を模擬した多方位ソーラー発電システムのコンパクト化に関する研究	700		○
電気電子工学科	教授	田村 淳二	スタンドアロン形ウインドファームによる高効率水素製造システム的设计	1,100		○
電気電子工学科	准教授	辻 寧 英	完全フォトニックバンドギャップ磁性フォトニック結晶に基づく新機能光デバイスの提案	700		○
電気電子工学科	教授	柏 達 也	自動車衝突防止を目的とした新周波数帯電波利用に関する研究	900		○
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	エネルギー代謝改変による中枢代謝活性化に基づくキシリトール発酵の効率化	700		○
バイオ環境化学科	助教	多田 清志	亜臨界水処理による農産廃棄物系バイオマスのカスケード利用プロセスの開発	500		○
機械工学科	准教授	鈴木 聡一郎	高齢者の健康寿命延伸のための身体能力向上効果に着目したマウスガードの試作研究	1,000		○
電気電子工学科	准教授	川村 武	RF-IDシステムによる暴風雪悪視界下の車両ナビゲーションシステム	1,200		○
社会環境工学科	准教授	亀田 貴雄	南極氷床の表面品質収支と海水準への影響の解明	700		○
バイオ環境化学科	助教	服部 和幸	開環重合を利用した主鎖が二単位ずつ伸長する多糖の合成法	600		○
バイオ環境化学科	教授	吉田 孝	インフルエンザウイルス吸着機能を持つ硫酸化多糖ナノ繊維の開発	1,100		○
社会環境工学科	准教授	堀 彰	X線回折逆格子マップ測定によるドームふじ氷床コアの氷結晶の組織と構造の研究	700		○
情報システム工学科	助教	曾根 宏靖	超高効率スーパーコンティニウム光のリアルタイム光波制御システムの構築	1,000		○
機械工学科	教授	柴野 純一	材料深部き裂の検出とき裂近傍ひずみマッピングを可能とする白色X線システムの開発	1,300		○
電気電子工学科	准教授	武山 眞弓	広範な抵抗率可変機能を持つ新しい薄膜ナノ材料の開発と最先端集積回路への応用	1,100		○
電気電子工学科	教授	谷藤 忠敏	近赤外分光を用いたヒト脳診断理論の構築	200		○
機械工学科	教授	羽二生 博之	GPS起動誘導農地赤外線自動航空撮影システムの開発と農地の土壌および作柄改善	700		○
バイオ環境化学科	教授	中谷 久之	カーボンニュートラル化を目指した時限型易生分解ポリプロピレンの作製	1,700	○	
未利用エネルギー研究センター	准教授	八久保 晶弘	天然ガスハイドレートの結晶構造安定性に及ぼす多成分系ガスの影響	1,400	○	
機械工学科	准教授	三戸 陽一	二相分散流システムにおける物質輸送機構のモデル化	1,900	○	
電気電子工学科	教授	谷本 洋	複素信号処理のための低電圧動作アナログ信号処理回路	100	○	
電気電子工学科	教授	川村 みどり	極薄表面層を有する高安定性銀薄膜の作製	2,500	○	

※別途、間接経費7,290千円配分

○挑戦的萌芽研究

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
情報システム工学科	教授	柴坂 俊雄	モーションメディアを活用したコンピュータ支援学習システム	700		○
社会環境工学科	教授	高橋 修平	車載型路面凍結検知システムの試作開発	700		○
機械工学科	准教授	松村 昌典	弱風地帯でも実用可能な集風塔型風車の開発研究	1,100		○

○若手研究(B)

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
情報システム工学科	准教授	原田 建治	コロナ帯電を用いたガラスへのホログラム記録	700		○
社会環境工学科	助教	白川 龍生	道路ユーザーの安全・安心感を重視した予防保全型舗装補修計画策定支援システムの開発	700		○
機器分析センター	講師	大津 直史	水酸化カルシウムスラリーを用いたチタンインプラントへの骨誘導性能付与	700		○
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	廃止ローカル線橋梁群を利用したスマートセンサーによる構造健全度診断技術の実証実験	2,600		○
共通講座	准教授	福士 航	なぜ長い18世紀の英国の劇場では女優だけが黒塗り>をしなかったのか?	700		○
情報処理センター	准教授	升井 洋志	ドリップライン近傍における原子核のエキゾチック構造と非束縛状態の役割	800		○
機械工学科	准教授	林田 和宏	レーザラマン分光法による火炎内における炭素質PMの成長挙動と構造形態の解析	2,200	○	
電気電子工学科	准教授	田口 健治	高性能アンテナ開発を目的とした最適設計システムに関する研究	500	○	

※別途、間接経費1,950千円配分

○特別研究員奨励費

所属	職名	氏名	研究課題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
バイオ環境化学科	特別研究員	宮崎 健輔	時限分解性ポリプロピレンの開発	700	○	
機械工学科	外国人特別研究員	ISLAM, M.R.	生体廃棄から代替液体燃料を生成するための熱処理システムの開発	900		○

平成22年度 科学研究費補助金申請件数一覧(学科等別)

(研究協力課)

学科等 研究種目等	機械工学科		社会環境工学科		電気電子工学科		情報システム工学科		バイオ環境化学科		マテリアル工学科		共通講座		センター等		合 計	
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
特別推進研究																	0	0
新学術領域研究 (研究領域提案型) (計画)																	0	0
新学術領域研究 (研究課題提案型)																	0	0
特定領域研究 (計画)																	0	0
特定領域研究 (公募)																	0	0
基盤研究(S)																	0	0
基盤研究(A) (一般)			(1)	(4,160)							(1)	(9,490)					(2)	(13,650)
			1	4,160							1	9,490					2	13,650
基盤研究(A) (海外学術調査)																	0	0
基盤研究(B) (一般)			(3)	(14,690)					(1)	(4,160)							(4)	(18,850)
			3	14,690			1	13,390	1	4,160							5	32,240
基盤研究(B) (海外学術調査)																	0	0
基盤研究(C) (一般)	(3)	(3,900)	(2)	(1,820)	(7)	(7,670)	(2)	(2,080)	(6)	(5,200)						(20)	(20,670)	
	4	6,370	2	1,820	9	11,050	2	2,080	7	8,450				1	1,820	25	31,590	
挑戦的萌芽研究	(1)	(1,100)	(1)	(700)			(1)	(700)								(3)	(2,500)	
	1	1,100	1	700			1	700								3	2,500	
若手研究(S)																	0	0
若手研究(A)																	0	0
																	0	0
若手研究(B)			(1)	(1,300)			(1)	(910)					(1)	(780)	(2)	(1,950)	(5)	(4,940)
	1	2,860	1	1,300	1	650	1	910					1	780	2	1,950	7	8,450
計	(4)	(5,000)	(8)	(22,670)	(7)	(7,670)	(4)	(3,690)	(7)	(9,360)	(1)	(9,490)	(1)	(780)	(2)	(1,950)	(34)	(60,610)
	6	10,330	8	22,670	10	11,700	5	17,080	8	12,610	1	9,490	1	780	3	3,770	42	88,430

※備考 1 上段()内は継続課題の内定数で内数

2 金額は平成22年度申請(内定)額

平成 22 年度（財）河川環境管理財団研究助成金の課題採択決定

（研究協力課）

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交 付 金 額
社会環境工学科	教 授	渡邊 康玄	耕作手法を考慮した畑作地からの土砂流出機構の解明	1,600 千円
社会環境工学科	教 授	中山 恵介	小流域における局所のおよび突発的な出水対策手法の開発	1,400 千円
社会環境工学科	准教授	早川 博	洪水時の河口砂州の挙動が河口部の水位・河床変動に及ぼす影響評価	1,600 千円



平成22年度共同研究の受入状況

平成22年5月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民 間 機 関 等
国際交流センター	教授	山岸 喬	アイヌ薬用植物の調査研究	(株)ノエビア
電気電子工学科	教授	柏 達也	大規模電磁界シミュレーションに関する研究	(株)本田技術研究所 四輪開発センター
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	バイオマス資源を有効活用した道路路面緑化工法の検討	(株)構研エンジニアリング
社会環境工学科	助教	白川 龍生	高性能ナノカーボン添加建設材料の開発	(株)構研エンジニアリング
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	アンカーピンの凍上対策に関する研究	(株)管野組
地域共同研究センター	教授	有田 敏彦	着雪がいのしらのフラッシュオーバーメカニズムと耐電圧試験法の検討	(財)電力中央研究所
バイオ環境化学科	准教授	新井 博文	野菜の抗アレルギー成分の研究	(株)ビューティエーラボジャパン
国際交流センター	教授	山岸 喬	野菜の保湿成分を使った化粧品の開発	(株)ビューティエーラボジャパン
情報システム工学科	准教授	原田 健治	コロナ耐電処理によるガラス表面改質	旭硝子株式会社
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	北見市一般廃棄物処理に関する環境調査並びにごみ質調査共同研究	北見市
マテリアル工学科	准教授	村田 美樹	美幌町における下水汚泥・放流水中の微量成分の長期モニタリングに関する研究	美幌町
マテリアル工学科	准教授	南 尚嗣	紋別市における下水汚泥・放流水中の有害微量成分の定量に関する長期的研究	紋別市
マテリアル工学科	教授	高橋 信夫	斜里町における環境試料(下水汚泥・放流水)中の微量環境有害成分の定量に関する長期的研究	斜里町
国際交流センター	教授	山岸 喬	常呂産ニンニク、常呂産ニンニクを用いた原料および／又は製品の有用性に関する研究	日本製菓工業(株)
共通教育グループ	准教授	伊藤 純一	常呂川水系におけるゴルフ場開発の下流水産資源への影響に関する研究	北海道漁業環境保全対策本部
社会環境工学科	助教	井上 真澄	機能性コンクリートに適用する化学混和剤の研究	日産化学工業(株) 化学品事業本部
マテリアル工学科	助教	大野 智也	ナノ粒子への誘電体被覆	東洋アルミニウム(株)コアテクノロジーセンター
社会環境工学科	教授	川村 彰	高速道路における走行快適性に関する共同研究	(株)高速道路総合技術研究所
社会環境工学科 (オホーツク地域環境保全 研究推進センター)	教授	鈴木 輝之	北見市環境調査研究(大気、水質、騒音・振動、臭気、ダイオキシン類)	北見市
マテリアル工学科	教授	青木 清	液体急冷プロセスを利用したNb-Ti-Ni系複相水素透過膜の開発	三菱マテリアル(株) 加工事業カンパニー
機械工学科	教授	富士 明良	新時代工学的素養を有する中核人材の育成	(社)北見工業技術センター運営協会
機械工学科	准教授	松村 昌典	住宅用24時間換気システムに関する研究	日本電興(株)
社会環境工学科	准教授	伊藤 陽司	土砂災害軽減のための地すべり活動度評価手法の開発	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 地質研究所

平成22年度累計23件

平成22年度受託研究の受入状況

平成22年5月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 円
社会環境工学科	教授	中山 恵介	知床を対象とした気候変動による寒冷地域の生態系システムへの影響評価	三井物産株式会社	2,065,000
電気電子工学科	准教授	武山 真弓	3Dインテグレーションに適用可能なバリア材料の低温プロセス化の検討	独立行政法人科学技術振興機構 分任契約担当者イノベーション 推進本部	1,000,000
社会環境工学科	教授	大島 俊之	鉄道廃線の橋梁群を活用した構造健全度診断技術開発のための実験環境の共同利用	独立行政法人科学技術振興機構	3,740,000

平成22年度累計 3件

平成22年度奨学寄附金受入状況

平成22年5月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	小原伸哉に対する研究助成金	(財)岩谷直治記念財団	1,742,000
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	排ガス成分低減触媒に関する研究の助成	出光興産株式会社	1,000,000
共通教育グループ	准教授	伊藤 純一	「ゴルフ場開発による常呂川水質調査・研究」助成のため	北海道漁業環境保全対策本部	800,000
電気電子工学科	助教	柳沢 英人	工学研究のため	柳沢 英人	50,000
機械工学科	助教	高井 和紀	住宅室内空気質の分析調査	特定非営利活動法人 日本VOC測定協会	840,000
機械工学科	助教	高井 和紀	住宅の躯体掃気に関する研究のため	ジェイベック株式会社	250,000
社会環境工学科	教授	大島 俊之	超低温下におけるゴム緩衝材の特性に関する研究	(株)ブリヂストン	400,000
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	道路構造の防災対策の検討	財団法人北海道道路管理技術 センター	300,000
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	工学研究のため	社団法人日本鉄鋼連盟	300,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	研究のため	財団法人北海道河川防災研究 センター	1,200,000
社会環境工学科	教授	前田 寛之	工学研究助成のため	(株) H. M. I	700,000

平成22年度累計 11件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○文部科学省発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
22.4.1		前 晋爾	国立大学法人北見工業大学監事 (任期:平成24年3月31日まで)
"	国立大学法人北見工業大学監事	高松 謹也	国立大学法人北見工業大学監事 (任期:平成24年3月31日まで)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
22.2.1	(新規採用)	尾崎 直	施設課主任
22.3.1	(新規採用)	井上 真澄	工学部助教
22.3.30	事務局長	石川 護	辞職(文部科学省へ転出)
22.3.31	理事	佐々木 克孝	任期満了退職
"	工学部教授	福井 洋之	定年退職
"	工学部教授	増田 弦	定年退職
"	工学部教授	鈴木 一央	定年退職
"	工学部教授	平野 温美	定年退職
"	工学部教授	金倉 忠之	定年退職
"	工学部助教	山田 洋右	定年退職
"	工学部助教	林 幸成	定年退職
"	情報図書課副課長	美村 光俊	定年退職
"	技術部大学運営支援室長	小竹 正敏	定年退職
"	工学部准教授	永禮 英明	辞職(岡山大学へ転出)
"	工学部特任講師	堀尾 佳以	辞職
"	財務課長	小山 浩幸	辞職(国文学研究資料館へ転出)
"	学生支援課長	梅村 直基	辞職(北海道大学へ転出)
"	情報図書課長	山田 勉	辞職(北海道大学へ転出)
"	財務課係長	水野 仁	辞職(北海道大学へ転出)
"	施設課係長	五十嵐 誠	辞職(長岡技術科学大学へ転出)
"	学生支援課	大甕 あさみ	辞職(北海道大学へ転出)
"	学生支援課	金井 学	辞職(文部科学省へ転出)

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
22.4.1	理事・副学長	高橋 信夫	理事・副学長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	田牧 純一	理事・副学長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	理事	小野 薫	理事 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	田村 淳二	副学長及び寒冷地・エネルギー・環境 工学専攻主任(任期:平成24年3月)
"	工学部教授	吉田 孝	副学長,図書館長及び医療工学専攻 主任
"	工学部教授	青木 清	学長補佐 (任期:平成23年3月31日まで)
"	工学部教授	高橋 修平	学長補佐 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	柴野 純一	学長補佐,機械工学科長及び機械シ ステム工学専攻主任
"	工学部教授	山下 聡	学長補佐 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	川村 彰	地域共同研究センター長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	堀内 淳一	機器分析センター長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	庄子 仁	未利用エネルギー研究センター長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	柴坂 俊雄	情報処理センター長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	富士 明良	ものづくりセンター長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	羽二生 博之	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長 及び生産基盤工学専攻主任
"	工学部教授	本田 明	保健管理センター所長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	鞘師 守	知的財産本部長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	山岸 喬	国際交流センター長 (任期:平成23年3月31日まで)
"	工学部教授	亀丸 俊一	技術部長 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部教授	大島 俊之	社会環境工学科長及び土木開発工 学専攻主任
"	工学部教授	吉田 公策	電気電子工学科長及び電気電子工 学専攻主任
"	工学部教授	三浦 則明	情報システム工学科長及び情報シス テム工学専攻主任
"	工学部教授	星 雅之	バイオ環境化学科長及び化学システ ム工学専攻主任
"	工学部教授	松田 剛	マテリアル工学科長及び機能材料工 学専攻主任
"	工学部教授	照井 日出喜	共通講座主任及び各専攻共通主任 (任期:平成24年3月31日まで)
"	工学部准教授	川村 みどり	工学部教授
"	工学部准教授	渡邊 眞次	工学部教授

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
22.4.1	(新規採用)	齋藤 正美	工学部教授
"	(新規採用)	三枝 和彦	工学部准教授
"	(新規採用)	山崎 新太郎	工学部助教
"	(新規採用)	今井 卓	工学部助教
"	(新規採用)	霜鳥 慈岳	工学部助教
"	(新規採用)	浪越 毅	工学部助教
"	(新規採用)	鈴木 衛	工学部特任講師
"	北陸先端科学技術大学院大学事務局次長	加藤 幹彦	事務局長
"	小樽商科大学キャリア支援課長	高橋 秀真	財務課長
"	函館工業高等専門学校総務課長	森實 利一	学生支援課長
"	北海道大学附属図書館学術システム課課長補佐	片桐 和子	情報図書課長
"	入試課係長	斉藤 由紀子	入試課副課長(係長兼務)
"	北海道大学財務部調達課主任	後藤 普	財務課係長
"	施設課主任	福崎 隼人	情報図書課係長
"	総務課	木村 加寿美	総務課主任
"	施設課	立花 智亜喜	施設課主任
"	学生支援課	原 勇介	総務課

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
22.4.1	(新規採用)	奥村 由理香	企画広報課
"	(新規採用)	菊池 翔	研究協力課
"	(新規採用)	笠川 勇将	学生支援課
"	総務課	西尾 貴則	学生支援課
"	企画広報課	高橋 亜喜子	学生支援課
"	財務課	和田 恵佳	文部科学省(研修生)
"	技術部環境安全支援グループ長	岡田 包儀	技術部大学運営支援室長
"	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ開発運用係	宇野 珠実	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ技術専門職員
"	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ作業環境測定係	須澤 啓一	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ安全衛生係長
"	技術部学部・大学院支援室教育研究支援グループ機器分析係	徳田 奨	技術部学部・大学院支援室教育研究支援グループ機器分析係長
"	技術部学部・大学院支援室ものづくり支援グループ工作技術支援係	佐藤 敏則	技術部学部・大学院支援室教育研究支援グループ技術専門職員
"	技術部大学運営支援室技術専門員	松田 弘喜	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ長
"	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ安全衛生係長	中西 喜美雄	技術部大学運営支援室環境安全支援グループ長
"	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ長	久松 茂	技術部大学運営支援室技術専門員
"	技術部学部・大学院支援室教育研究支援グループ機器分析係長	山根 美佐雄	技術部学部・大学院支援室技術専門員

各種委員会等委員名簿

(総務課)

役員会／経営協議会／教育研究評議会／学長補佐／系列長

平成22年4月1日現在

	役員会	経営協議会	教育研究評議会	学長補佐	系列長
議長	学 長 鮎 田 耕 一	学 長 鮎 田 耕 一	学 長 鮎 田 耕 一		
委員	理 事 高 橋 信 夫	理 事 高 橋 信 夫	理 事 高 橋 信 夫	(研究推進担当) 青 木 清	機械・社会環境系 大 島 俊 之
	理 事 田 牧 純 一	理 事 田 牧 純 一	理 事 田 牧 純 一	(地域連携担当) 高 橋 修 平	情報電気・ エレクトロニクス系 三 浦 則 明
	理 事 小 野 薫	理 事 小 野 薫	理 事 小 野 薫	(学生支援担当) 柴 野 純 一	バイオ環境・ マテリアル系 松 田 剛
		副 学 長 田 村 淳 二	副 学 長 田 村 淳 二	(入試担当) 山 下 聡	共通講座 照 井 日 出 喜
		副 学 長 吉 田 孝	副 学 長 吉 田 孝		
		事 務 局 長 加 藤 幹 彦	機 械 工 学 科 柴 野 純 一		
		機 北 辰 工 業 取 締 役 会 長 越 膳 良 臣	社 会 環 境 工 学 科 大 島 俊 之		
		独 立 行 政 法 人 科 学 技 術 振 興 機 構 研 究 成 果 活 用 2 ' 3 9 北 海 道 総 館 館 長 大 味 一 夫	電 気 電 子 工 学 科 吉 田 公 策		
		東 京 電 波 機 代 表 取 締 役 会 長 熊 谷 秀 男	情 報 シ ス テ ム 工 学 科 三 浦 則 明		
		北 見 商 工 会 議 所 会 頭 永 田 正 記	バ イ オ 環 境 化 学 科 星 雅 之		
		北 海 道 情 報 大 学 学 長 長 谷 川 淳	マ テ リ ア ル 工 学 科 松 田 剛		
		前 北 海 道 大 学 大 学 院 工 学 研 究 科 教 授 三 上 隆	共 通 講 座 照 井 日 出 喜		
		北 海 道 経 済 産 業 局 長 柚 原 一 夫	地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー 長 川 村 彰		
			機 器 分 析 セ ン タ ー 長 堀 内 淳 一		
			未 利 用 エ ネ ル ギ ー 研 究 セ ン タ ー 長 庄 子 仁		
			情 報 処 理 セ ン タ ー 長 榮 坂 俊 雄		
			国 際 交 流 セ ン タ ー 長 山 岸 喬		
			技 術 部 長 亀 丸 俊 一		
			事 務 局 長 加 藤 幹 彦		
			機 械 工 学 科 大 橋 鉄 也		
			社 会 環 境 工 学 科 山 下 聡		
			電 気 電 子 工 学 科 野 矢 厚		
			情 報 シ ス テ ム 工 学 科 柴 田 孝 次		
			バ イ オ 環 境 化 学 科 青 山 政 和		
			マ テ リ ア ル 工 学 科 渡 邊 眞 次		
			共 通 講 座 伊 関 敏 之		
任 期	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31

学科長・講座主任／専攻主任／教務委員会／学生委員会／入学者選抜委員会

	学科長・講座主任	専攻主任	教務委員会	学生委員会	入学者選抜委員会
委員長			副学長 田牧純一	副学長 田村淳二	副学長 田牧純一
副委員長					学長補佐 山下 聡
委員	機械工学科 柴野純一	【博士前期課程】	機械工学科 山田貴延	機械工学科 羽二生博之	機械工学科 林田和宏
	社会環境工学科 大島俊之	機械システム工学専攻 柴野純一	社会環境工学科 中山恵介	社会環境工学科 三上修一	社会環境工学科 高橋修平
	電気電子工学科 吉田公策	電気電子工学専攻 吉田公策	電気電子工学科 小原伸哉	電気電子工学科 武山真弓	電気電子工学科 柏 達也
	情報システム工学科 三浦則明	情報システム工学専攻 三浦則明	情報システム工学科 河野正晴	情報システム工学科 今井正人	情報システム工学科 渡辺文彦
	バイオ環境化学科 星 雅之	化学システム工学専攻 星 雅之	バイオ環境化学科 菅野 亨	バイオ環境化学科 佐藤利次	バイオ環境化学科 中谷久之
	マテリアル工学科 松田 剛	機能材料工学専攻 松田 剛	マテリアル工学科 川村みどり	マテリアル工学科 射水雄三	マテリアル工学科 渡邊眞次
	共通講座 照井日出喜	土木開発工学専攻 大島俊之	共通講座 水本正晴	共通講座 戸澤隆広	共通講座 芳賀和敏
		各専攻共通 照井日出喜	地域共同 研究センター 鞘師 守	国際交流センター長 山岸 喬	
		【博士後期課程】			
		生産基盤工学専攻 羽二生博之			
		寒冷地・環境・ エネルギー工学専攻 田村淳二			
		医療工学専攻 吉田 孝			
		各専攻共通 照井日出喜			
		【博士後期課程（旧専攻）】			
		システム工学専攻 田村淳二			
		物質工学専攻 吉田 孝			
任期		22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31

図書館委員会／国際交流委員会／地域連携推進委員会／大学評価委員会／広報委員会

	図書館委員会	国際交流委員会	地域連携推進委員会	大学評価委員会	広報委員会
委員長	図書館長 吉田 孝	副学長 田村 淳二	副学長 高橋 信夫	理事 田牧 純一	副学長 田村 淳二
副委員長		学長補佐 高橋 修平	学長補佐 高橋 修平	学長補佐 青木 清	学長補佐 柴野 純一
委員	機械工学科 渡辺 美知子	国際交流センター長 山岸 喬	地域共同研究センター長 川村 彰	機械工学科 佐々木 正史	機械工学科 松村 昌典
	社会環境工学科 中尾 隆志	国際交流センター専任教員 荒谷 陽子	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長 羽二生 博之	社会環境工学科 前田 寛之	社会環境工学科 榎本 浩之
	電気電子工学科 谷本 洋	機械工学科 ウラ シャリフ	知的財産本部長 鞘師 守	電気電子工学科 吉田 公策	電気電子工学科 熊耳 浩
	情報システム工学科 三波 篤郎	社会環境工学科 高橋 清	機械工学科 鈴木 総一郎	情報システム工学科 山田 浩嗣	情報システム工学科 中垣 淳
	バイオ環境化学科 新井 博文	電気電子工学科 田口 健治	社会環境工学科 宮森 保紀	バイオ環境化学科 堀内 淳一	バイオ環境化学科 岡崎 文保
	マテリアル工学科 南 尚嗣	情報システム工学科 原田 康浩	電気電子工学科 植田 孝夫	マテリアル工学科 阿部 良夫	マテリアル工学科 村田 美樹
	共通講座 福士 航	バイオ環境化学科 兼清 泰正	情報システム工学科 榮坂 俊雄	共通講座 照井 日出喜	共通講座 鳴島 史之
		マテリアル工学科 阿部 良夫	バイオ環境化学科 鈴木 勉	事務局長 加藤 幹彦	地域共同研究センター 鞘師 守
		共通講座 ポゼック・クリストファー	マテリアル工学科 宇都 正幸		事務局長 加藤 幹彦
		事務局長 加藤 幹彦	共通講座 三枝 和彦		
			事務局長 加藤 幹彦		
任期	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31

安全衛生委員会／施設環境委員会／情報システム運営委員会／発明審査委員会／遺伝子組換え実験等安全管理委員会

	安全衛生委員会	施設環境委員会	情報システム運営委員会	発明審査委員会	遺伝子組換え実験等安全管理委員会
委員長	理事 高橋 信夫	副学長 高橋 信夫	副学長 吉田 孝	副学長 吉田 孝	副学長 吉田 孝
副委員長				知的財産本部長 鞘 師 守	
委員	技術部 橋本 晴美	地域共同研究センター長 川村 彰	情報処理センター長 榮坂 俊雄	地域共同研究センター長 川村 彰	バイオ環境化学科 堀内 淳一
	技術部 白川 和哉	機器分析センター長 堀内 淳一	情報処理センター専任教員 升井 洋志	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長 羽二生 博之	バイオ環境化学科 佐藤 利次
	保健管理センター所長 本田 明	未利用エネルギー研究センター長 庄子 仁	情報処理センター専任教員 寄高 秀洋		保健管理センター所長 本田 明
	バイオ環境化学科 青山 政和	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長 羽二生 博之	機械工学科 三戸 陽一		研究協力課長 谷川 敦
	マテリアル工学科 伊藤 英信	機械工学科 尾崎 義治	社会環境工学科 八久保 晶弘		
	地域共同研究センター 有田 敏彦	社会環境工学科 後藤 隆司	電気電子工学科 辻 寧英		
	技術部 岡田 包儀	電気電子工学科 谷藤 忠敏	情報システム工学科 榊井 文人		
	技術部 久松 茂	情報システム工学科 柴田 孝次	バイオ環境化学科 三浦 宏一		
	財務課 松沼 拓夫	バイオ環境化学科 兼清 泰正	マテリアル工学科 射水 雄三		
	社会環境工学科 伊藤 陽司	マテリアル工学科 石川 和宏	共通講座 阿曾 正浩		
	電気電子工学科 高橋 理音	共通講座 柳 等	事務局長 加藤 幹彦		
	マテリアル工学科 石川 和宏	事務局長 加藤 幹彦	教育IT支援室長 三波 篤郎		
任期	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31		22. 4. 1 ~ 24. 3. 31

環境安全センター／学生支援センター／学生よろず相談室／就職支援室／教育IT支援室

	環境安全センター	学生支援センター	学生よろず相談室	就職支援室	教育IT支援室
センター長・室長	副学長 高橋 信夫	副学長 田村 淳二	マテリアル工学科 射水 雄三	機械工学科 柴野 純一	情報システム工学科 三波 篤郎
副センター長・室長補佐・副室長	施設課長 永井 雅彦	学生支援課長 森 實利一		学生支援課副課長 藤田 美代子	電気電子工学科 平山 浩一
兼任教員・センター員・室員	社会環境工学科 白川 龍生	学生よろず相談室長 射水 雄三	機械工学科 渡辺 美知子	機械工学科 尾崎 義治	社会環境工学科 宮森 保紀
	情報システム工学科 亀丸 俊一	就職支援室長 柴野 純一	社会環境工学科 伊藤 陽司	社会環境工学科 早川 博	マテリアル工学科 射水 雄三
	バイオ環境化学科 星 雅之	教育IT支援室長 三波 篤郎	社会環境工学科 亀田 貴雄	電気電子工学科 野矢 厚	情報処理センター長 榮坂 俊雄
	バイオ環境化学科 伊藤 好二	就職支援室室長補佐 藤田 美代子	電気電子工学科 高橋 理音	情報システム工学科 早川 吉彦	情報処理センター 寄高 秀洋
	バイオ環境化学科 小俣 雅嗣	教育IT支援室副室長 平山 浩一	情報システム工学科 山田 浩嗣	バイオ環境化学科 佐藤 利次	学生支援課長 森 實利一
	マテリアル工学科 渡邊 眞次		情報システム工学科 中垣 淳	マテリアル工学科 南 尚嗣	学生支援課副課長 斉藤 仁史
	保健管理センター所長 本田 明		バイオ環境化学科 菅野 亨		
	企画広報課 山本 渉		共通講座 柳 等		
	施設課 早瀬 敦		未利用エネルギー研究センター長 八久保 晶弘		
	施設課 内山 彰		保健管理センター所長 本田 明		
	施設課 後藤 将大		学生支援課長 森 實利一		
	学生支援課 森 實利一		学生支援課副課長 藤田 美代子		
	学生支援課 高橋 定志				
	学生支援課 長谷川 麻美				
	保健管理センター 辻 由美子				
	技術部 白川 和哉				
	技術部 橋本 晴美				
	技術部 須澤 啓一				
任期	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31		22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31

教育改善推進センター／入試企画センター／不正防止対策室

	教育改善推進センター	入試企画センター	不正防止対策室		
センター長・ 副センター長・ 副室長	副学長 田牧純一	副学長 田牧純一	副学長 吉田孝		
	バイオ環境化学科 中谷久之	社会環境工学科 山下 聡	財務課長 高橋秀真		
			研究協力課長 谷川 敦		
兼任教員・ 副室長	機械工学科 山田貴延	機械工学科 柴野純一	未利用エネルギー 研究センター長 庄子 仁		
	社会環境工学科 榎本浩之	電気電子工学科 平山浩一	機械工学科 佐々木正史		
	社会環境工学科 早川 博	情報システム工学科 亀丸俊一	情報システム工学科 榮坂俊雄		
	電気電子工学科 川村 武	バイオ環境化学科 岡崎文保	マテリアル工学科 阿部良夫		
	情報システム工学科 原田建治	マテリアル工学科 阿部良夫			
	情報システム工学科 鈴木範男	マテリアル工学科 宇都正幸			
	マテリアル工学科 村田美樹	共通講座 山田健二			
	共通講座 山田健二				
	共通講座 福士 航				
任期	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31			

機器分析センター兼任教員/未利用エネルギー研究センター兼任教員/情報処理センター兼任教員/サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー兼任教員

	機器分析センター兼任教員	未利用エネルギー研究センター兼任教員	情報処理センター兼任教員	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー兼任教員	
委員	機械工学科 富士明良	機械工学科 佐々木正史	機械工学科 渡辺美知子	機械工学科 羽二生博之	
	社会環境工学科 前田寛之	社会環境工学科 前田寛之	社会環境工学科 中山恵介	機械工学科 鈴木総一郎	
	電気電子工学科 野矢厚	社会環境工学科 山下聡	社会環境工学科 亀田貴雄	社会環境工学科 川村彰	
	情報システム工学科 榎井文人	バイオ環境化学科 鈴木勉	電気電子工学科 田口健治	バイオ環境化学科 青山政和	
	バイオ環境化学科 三浦宏一	バイオ環境化学科 岡崎文保	情報システム工学科 前田康成	バイオ環境化学科 星雅之	
	マテリアル工学科 石川和宏	マテリアル工学科 高橋信夫	バイオ環境化学科 新井博文	バイオ環境化学科 吉田孝	
	共通講座 柳等	マテリアル工学科 南尚嗣	マテリアル工学科 石川和宏	国際交流センター 山岸喬	
			共通講座 戸澤隆広		
任期	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	22. 4. 1 ~ 24. 3. 31	

クラス担任／就職担当教員

	クラス担任（1年）	クラス担任（2年）	クラス担任（3年）	クラス担任（4年）	就職担当教員
	機械・社会環境系	機械工学科 小林道明	機械工学科 富士明良	機械システム工学科 柴野純一	機械システム工学科 富士明良
	A 主担任 三枝和彦	〃 渡辺美知子	〃 林田和宏	〃 大橋鉄也	〃 林田和宏
	〃 副担任 佐々木正史	社会環境工学科 高橋清	社会環境工学科 中山恵介	電気電子工学科 野矢厚	電気電子工学科 野矢厚
	B 主担任 戸澤隆広	〃 中尾隆志	〃 早川博	〃 小原伸哉	〃 小原伸哉
	〃 副担任 宮越勝美	電気電子工学科 川村武	電気電子工学科 高橋理音	情報システム工学科 今井正人	情報システム工学科 鈴木正清
	C 主担任 福士航	〃 田口健治	〃 熊耳浩	〃 後藤文太郎	〃 後藤文太郎
	〃 副担任 三上修一	情報システム工学科 山田浩嗣	情報システム工学科 鈴木範男	化学システム工学科 星雅之	化学システム工学科 星雅之
	D 主担任 芳賀和敏	〃 榊井文人	〃 早川吉彦	機能材料工学科 松田剛	機能材料工学科 松田剛
	〃 副担任 亀田貴雄	バイオ環境化学科 佐藤利次	バイオ環境化学科 兼清泰正	土木開発工学科 渡邊康玄	土木開発工学科 渡邊康玄
	情報電気エレクトロニクス系	マテリアル工学科 伊藤英信	マテリアル工学科 南尚嗣	〃 堀彰	〃 堀彰
	A 主担任 阿曾正浩				
	〃 副担任 菅原宣義				
	B 主担任 斎藤正美				
	〃 副担任 平山浩一				
	C 主担任 水本正晴				
	〃 副担任 原田建治				
	D 主担任 鳴島史之				
	〃 副担任 三波篤郎				
	バイオ環境・マテリアル系				
	A 主担任 柳 等				
	〃 副担任 宇都正幸				
	B 主担任 照井日出喜				
	〃 副担任 宇都正幸				
	C 主担任 山田健二				
	〃 副担任 新井博文				
任期	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31	22. 4. 1 ~ 23. 3. 31

= 受賞 =

バイオ環境化学科、中谷久之教授が第 28 回スガウェザリング技術 振興財団科学技術奨励賞を受賞

(バイオ環境化学科)

このたび、本学バイオ環境化学科教授の中谷久之先生が、スガウェザリング技術振興財団より第 28 回科学技術奨励賞を受賞されました。

財団法人スガウェザリング技術振興財団は、プラスチック、塗料、金属、色材、繊維、皮革などの材料・製品の耐候光性、耐腐食性、老劣化性に対する”ウェザリング技術”に関して、研究人材の育成、功労者の表彰、試験研究の助成、研究委員会による試験研究などを行うことによりその技術振興を図り、もってわが国の産業発展および国民福祉の増進に貢献することを目的に、スガ試験機株式会社の後援により、設立された財団です。

また、科学技術奨励賞は、“ウェザリング技術(色彩技術を含む)”の研究及び振興に関し、画期的な、著しい、あるいは優れた成果が認められる研究者に送られる賞で、今回は中谷教授の「カーボンニュートラル化を目指したポリプロピレン劣化の基礎研究」に対して贈られました。

地球環境保全の面から、自然環境下で分解されるカーボンニュートラルな生分解プラスチック材料は、環境負荷の低減法として現在、世界的に盛んに研究され、一部実用化に至っています。しかし、現在の生分解プラスチックは力学物性を中心とした諸物性が、石油由来の汎用プラスチックに比べ劣るため、代替には限界があるのが実情です。そのため、近年、多数



科学技術奨励賞表彰状と記念楯

の優れた物性を有するポリエチレンやポリプロピレン(PP)のような汎用性プラスチックをカーボンニュートラル化する技術の必要性が高まっています。

中谷教授は、最近、アンサ型 TiO_2 をポリエチレンオキシド(PEO)でマイクロカプセル化し、これをPPに添加することで、従来型の単純に TiO_2 をPPに添加した系に比べて約三十倍早い速度で耐候性劣化分解(光分解)させることに成功(*Polym. Deg. Stab.*, 94, pp. 2114-2120 (2009))、カーボンニュートラル能をPPに付与できる可能性を示しました。上記の分解性プラスチックの先駆的な研究が認められ、受賞されたものです。

国立極地研究所と連携・協力に関する協定書を締結

(研究協力課)

4月7日(水)、本学において、「国立大学法人北見工業大学と大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との連携・協力に関する協定書」を締結しました。

この協定は、本学と国立極地研究所が長年にわたり培ってきた研究協力関係を基盤として、より緊密で組織的な連携関係を構築し、極域科学及び寒冷地工学分野の研究を発展させることを目的に締結したものです。

関係者が見守る中、鮎田学長と国立極地研究所藤井所長が協定書を取り交わしました。国立極地研究所とは特に南極観測隊として、1982年から冬隊延べ7人、夏隊3人が北見工業大学から隊員として参加し活躍をしており、今後は、本協定書締結により連携が更に強固なものとなり、共同研究や研究者間の交流が益々盛んになることが期待されております。

また、協定調印式後には、「南北両極から地球、環境、宇宙、生命を探る」と題して藤井所



↑ 協定書を取り交わす藤井所長（左）と鮎田学長

長による記念講演会を開催しました。この講演会には、本学学生・教職員及び一般の方合わせて100名以上が参加し、南極及び北極の現状や環境の問題など熱心に聴き入っていました。



↑ 講演する藤井極地研所長



↑ 講演に聴き入る参加者たち

名誉教授称号授与

(総務課)

4月14日(水)開催の教育研究評議会において、本年3月31日限りで任期満了並びに定年により退職された佐々木克孝氏、福井洋之氏、増田弦氏、鈴木一央氏、平野

温美氏の5氏に対して、本学名誉教授の称号を授与することが承認され、4月26日(月)に鮎田耕一学長から名誉教授の称号が授与されました。



↑ 称号授与



↑ 集合写真

平成 22 年度構内美化作業の開始

(施設課)

毎年恒例となっている「構内美化作業」が 5 月 10 日(月)から始まりました。

昼休み時間を利用して学生と教職員が協力しながら構内や沿道のゴミ拾いを行うというこの取組みは、大学の地域貢献という側面のみならず、環境マインドを持った人材育成を目指した活動です。

今年は 5 月と思えないほどの肌寒さでしたが、鮎田学長より構内美化についての激励を受けた約 150 名の参加者はそれぞれ構内所定の場所を廻り、ゴミ拾いに汗を流しました。

その後、学生及び教職員は雪どけにより出てきたゴミを袋に詰めて集積所へ戻り、職員指導のもとゴミを分別して第一回目の作業が終了となりました。

構内美化作業は 10 月下旬まで夏季休業期間の 8 月・9 月を除く毎月 2 回のペースで行われ、期間内には地域との連携をより深めるべく市が主催する「北見クリーン作戦」にも参加し、市民への清掃に関する啓発活動や付近公園などのゴミ拾いを実施する予定です。



← 参加者を激励する鮎田学長

学生と教職員が協力して美化作業を実施

→



50周年記念植樹式

(施設課)

5月13日(木)、本学の50周年を記念してエゾヤマザクラの植樹式が行われました。

この桜は北海道新聞社、北海道文化放送、道新サービスセンターが、「北海道千本桜運動」として行っている事業により、本学の50周年に合わせて50本を寄贈いただいたものです。

当日はあいにく肌寒い天候となってしまいましたが、御来賓の方々や教職員、学生を含め約80名が式典に参加いただきました。

式の開催にあたり鮎田学長から「今年これまでの50年を振り返り、またこれからの50年に思いをはせる節目の年となります。本学もこの桜に倣ってこれからの50年をますます成長・成熟してゆくものになりたいと願っています」と、式辞が述べられました。

その後、植樹と銘板への盛り土が行われ式典会場は参加者の拍手に包まれました。植樹した桜の周りで学生が記念撮影をするなど終始、和やかな雰囲気での式典となりました。



↑ 鮎田学長 式辞



↑ 植樹の様子



↑ 鮎田学長 銘板の埋め込み

函館、苫小牧、釧路、旭川の道内 4 高専と学術交流協定を締結

(企画広報課)

5月25日(火)、函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校及び旭川工業高等専門学校と、学術交流に関する協定の締結式を行いました。

協定は、これまで本学と道内4高専との間で個別に培われてきた協力体制を、北海道全域に位置する大学及び高専が組織的に手を結

び、より強固なものとするこゝで、教育研究における連携強化、北海道全域の社会・経済・文化の進展に貢献できるものと期待されています。

締結式では、協定書への署名の後、道内4高専を代表して岸浪釧路工業高等専門学校長と鮎田学長から抱負が述べられました。



← 締結式の様子



署名後の握手 →

= 日誌 =

(企画広報課)

4 月	5 月
2 日 教授会	7 日 入試企画センター全体会議、教務委員会
5 日 入学式、新入生ガイダンス(全体)	11 日 国際交流委員会、発明審査委員会、 就職ガイダンス
6 日 役員会、新入生ガイダンス(系列)	13 日 50周年記念植樹式
7 日 前期授業開始、国立極地研究所との 協定調印式	17 日 役員会
12 日 役員会	18 日 インターンシップ説明会
14 日 教育研究評議会	19 日 研究科委員会、入学者選抜委員会、 学生委員会
15 日 経営協議会、学長選考会議	21 日 面接対策講座
19 日 役員会	24 日 役員会
20 日 教務委員会、面接対策講座、交通安全講習会	25 日 道内4高専との学術交流協定締結式
21 日 広報委員会	26 日 教育研究評議会
23 日 地域共同研究センター推進協議会総会	31 日 役員会
28 日 情報システム運営委員会、学生委員会	
30 日 臨時休講	

